

発電所取水路への付着生物の幼生検出キット

■ 概要

付着生物の幼生検出技術は、妊娠検査薬など医療分野で普及しているものと同様の抗体を用いた手法で、アカフジツボ、ムラサキイガイ、クダウミヒドラが持つ特定のタンパク質と結合する抗体を用い、結合時に表れる赤いラインにより試料中の幼生の有無を識別するものです。

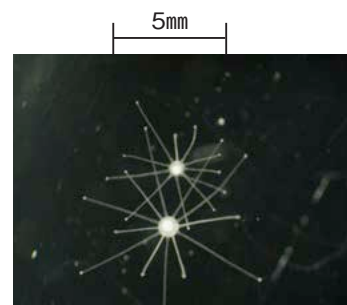
特長

- 専門家でも簡便・迅速・高感度な検出が可能
採取サンプルからの抽出液を滴下するだけで、約10分で検出できます。
- 装置なしで検出可能
顕微鏡などの装置が必要ないため、野外でも検出できます。
- 誤検出の可能性がない
他種プランクトンには反応しないため、誤検出の可能性がありません。
- 付着直前の幼生に強く反応
検出対象種の内、付着直前の幼生に強く反応し、それ以外には反応が弱いことから、付着に寄与する幼生だけをより直接的に検出できます。

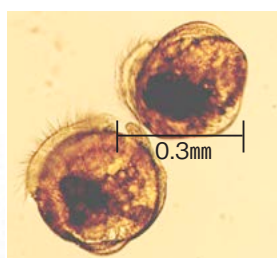
検出キット



アカフジツボ成体（左）および付着期幼生（右）



クダウミヒドラ成体（左）および幼生（右）



ムラサキイガイ成体（左）および付着期幼生（右）



幼生検出キット

共同研究先

株式会社セシルリサーチ

お問い合わせ先 ▶ 中国電力株式会社 エネルギー総合研究所 環境技術担当

〒739-0046 東広島市鏡山3丁目9番1号 TEL/082-420-0700 FAX/082-420-0704